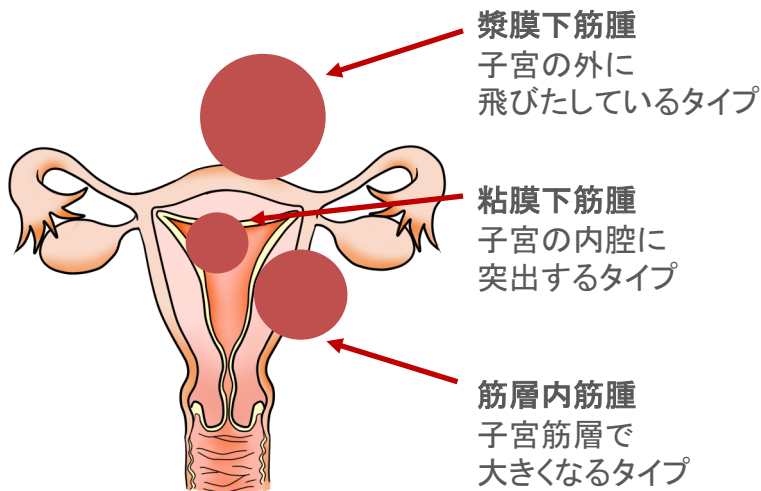


子宮筋腫と治療方法

子宮筋腫は、30歳以上の実に3割以上の女性に認められる非常に一般的な婦人科疾患です。起こりうる症状や治療方法について説明します。

子宮筋腫とは



子宮筋腫は子宮筋層にできる良性腫瘍の一つで、**30歳以上の女性の3割の方に1つ以上の子宮筋腫が見つかる**と言われています。さらにその半数以上が子宮筋腫を複数個持つ**多発子宮筋腫**です。子宮筋腫の位置によって、左の図の様に呼び方が分かります。子宮筋腫自体は良性で特に症状を有する訳ではありませんが、大きくなることで**他の臓器を圧迫してしまったり**、子宮内膜の形状を変えることで**生理に伴う様々な症状を引き起こします**。

子宮筋腫による諸症状

過多月経

子宮筋腫により、**子宮内膜が引き伸ばされるために生理の出血量が増加**します。漿膜下筋腫は子宮内膜の形状にあまり関連しないため、過多月経が起こりにくいですが、逆に粘膜下筋腫は月経量が増加しやすいので注意が必要です。過多月経が続くと貧血になってしまう事も多いため、早めの治療が必要です。

月経困難症

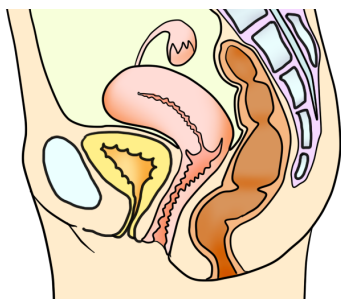
生理痛は月経時に子宮内膜から産生される**プロスタグランジン**というホルモンにより引き起こされますが、過多月経同様子宮内膜が引き伸ばされるケースでは生理痛も重くなりがちです。

便秘・頻尿

子宮の前後には膀胱と腸管が存在します。あまりに子宮筋腫が大きくなるとこれらの臓器を圧迫してしまい便秘や頻尿の原因となります。

不妊症

子宮内膜は受精卵がたどり着き妊娠が成立する場所です。特に粘膜下筋腫など子宮内膜の形を大きく変化させてしまう場合、妊娠が成立しにくくなることがあります。



子宮と各臓器の位置関係

体を縦に割った断面の図です。子宮のお腹側には膀胱、そして背中側に直腸が存在します。

子宮筋腫の治療方法

子宮筋腫は生理に関連する女性ホルモン(エストロゲン)の影響で徐々に大きくなっていきます。閉経後は女性ホルモンが減少するため子宮筋腫は大きくなり縮小する事も多いですが、それまでは子宮筋腫は基本的に大きくなっていくため定期的な経過観察が必要です。さらに閉経に至るまで長い期間が予想されるのに様々な症状が表面化してしまう場合には手術をはじめとした積極的な治療が必要です。

子宮筋腫の薬物療法

子宮筋腫に対する薬物療法は、月経困難症に対する鎮痛薬や漢方薬、貧血に対する鉄剤投与など症状に合わせた対症療法であるものが多く基本的には根治を見込める方法ではありません。筋腫自体の大きさを小さくする可能性がある薬物療法としては低用量ピルが挙げられます。低用量ピルは子宮筋腫の縮小だけでなく月経困難症や過多月経に対しても効果を発揮します。また閉経が近い年齢であれば、GnRHagonistという体内のホルモンバランスを閉経状態に持ち込む注射を選択する事も可能です(偽閉経療法)。1ヶ月に1回の注射を4-6回行います。2-3回の注射で生理は止まり子宮筋腫も2-3割程度縮小を見込めます。しかしこの方法は、注射が終わり月経が再開した後半年程度で筋腫の大きさが元に戻ってしまうため、50歳前後の閉経に近い方以外にはお勧めできません(手術前投与として、4-6回注射を行うことはあります)。

子宮筋腫の手術療法

症状を有する子宮筋腫や近い将来妊娠を望む場合などに子宮筋腫に対する手術療法を行います。現在手術の方法は様々なものが選択可能であり、ご自分の状況や希望に合わせて選択します。手術を希望される場合は他院への紹介となります。

・ 摘出する範囲

子宮全摘術: 子宮そのものを摘出する方法

筋腫核出術: 筋腫のみを摘出する方法

・ 手術方法

開腹手術: お腹を切開して手術を行います

腹腔鏡手術: 腹腔内にカメラや器具を挿入し手術を行います

子宮鏡手術: 子宮の出口から内視鏡を挿入し、筋腫を摘出します(粘膜下筋腫のみ)

子宮動脈塞栓術(UAE)

子宮筋腫に対する新しい治療方法として、子宮を栄養する子宮動脈という血管に詰め物をして子宮筋腫を栄養不足にさせるUAEという方法が徐々に広まっています。確かに有効な方法ではありますが、永久的に血流を遮断する訳では無いため子宮筋腫が再度大きくなる可能性がある事、さらにUAEによる妊娠率の変化や、妊娠に伴うリスクについては分かっていないことが多い事が注意点として挙げられます。UAEについて検討したい場合は他院への紹介となりますので、その希望をお伝え下さい。

FUS収束超音波治療

UAE同様非常に新しい方法で、MRIにより筋腫の位置を把握し、超音波を用いて筋腫を壊死させる方法です。条件はUAEよりも限られています。また取り扱い施設も2017年現在、非常に少ない状況です。やはり他院への紹介となります。